

テーマ	全経対策（V）：決算振替仕訳・勘定の締切・特殊商品売買
-----	-----------------------------

2. 次の取引について仕訳を示しなさい。（2級対策）

● 未着品売買

- (1) 仕入先八尾商店より商品Aの貨物代表証券100,000円、および商品Bの貨物代表証券200,000円を受け取り、代金は掛けとした。
- (2) 得意先花岡商店に、先に受け取った商品Aの貨物代表証券（原価：100,000円）を150,000円で転売した。なお、未着品の売上原価を仕入勘定に振り替えた。
- (3) 本日、商品Bが到着したので、貨物代表証券と交換に商品を引き取った。なお、その際に引取費用2,000円を現金で支払った。

● 委託販売

- (4) 当社は楽音寺百貨店への販売委託のため、商品C（原価200,000円、指値300,000円）を積送した。なお、この際の発送費用5,000円は現金で支払った。
- (5) 当社は楽音寺百貨店から、商品Cの販売委託について次の仕切精算書を受け取った。なお、積送品売上は受託者の売上高で計上するとともに、その都度販売した積送品の原価を仕入勘定に振り替える。

仕切精算書		
（単位：円）		
売上高		¥300,000
諸掛		
販売手数料	¥30,000	
保管料	5,000	35,000
手取金		¥265,000

- (6) 楽音寺百貨店から、先の委託販売契約に基づく売上代金265,000円が当座預金口座に振り込まれた。

● 割賦販売

- (7) 当社は商品（原価120,000円）を200,000円で販売し、代金は5回の均等分割払い（1回の回収額40,000円）で回収することとした。
- (8) 1回目及び2回目の販売代金を現金で回収した。
- (9) 決算となった。